



岡本 ひとし

教職員人事権の移譲について

一、教職員人事権の移譲について 二、危機管理体制の現状について

勢に赴任された先生が現場で活躍されております。

問 三市二町(豊中市・箕面市・池田市・能勢町・豊能町)での教職員人事権の移譲に関する検討作業が行われているが、これまでの検討結果や課題を伺う。

答 平成二十四年度当初に任命権の移譲を受けることとなり、採用選考・管理職の選考・広域人事交流及び法定研修を共同処理します。各市町村の特徴を活かしながら進め準備室において課題整理を行うてまいります。

危機管理体制の現状について

問 本町における天災等の危機管理体制について伺う。
答 地域住民の安全を確保するため情報収集や情

問 特色のある学校づくりに重要な要素とは。
答 教育にとって一番大事なものは教員であり、地域が教員の質を育てるものであります。

報伝達に努め、消防団等の関係団体や地域住民の協力を得て最大限に努力していきます。

問 庁内職員の危機管理体制について伺う。
答 災害警戒本部を立ち上げ、対処するような体制整備があります。

問 他府県(川西市・亀岡市・猪名川町等)との災害応援協定が必要だとされるが、
答 常識の範囲内で相互助け合いをするのは当然のことであると思われる。

問 ある住民さんから「学校再編で併設型の小中一貫教育も大事ですが、ユネスコスクールに認定された能勢高校が、連携型の中高一貫教育として、定員割れすることなく発展できるように」とのご要望をお聞きしました。教育長にお聞きします。
答 能勢町の小中学校それから高校も入れて教科の連続性を一貫してとらえる(シラバス)を教科ごとに取り組んでいる。子どもを育ちを中学校と高校も含めてわかるようになっており、長いスパンで子どもの育ちを能勢では見ることが出来る(ロングレンジ)。学校の定員割れは、能勢町の生徒の数が大幅に減少してきていること、大阪府の私立高校の助成も府内で公



岡本 榮三郎

学校問題について

立41高が定員割れをするという原因に、また子どもも一遍はまちに出てみたいという思いがあつて苦慮しています。

うか、大きな総合的な高等学校にするというのも存続の一つの方法であると思います。伝統といえどもやり方によって存続できる、昔からの考え方をそのまま踏襲してやるようでは伝統校も保てない。能勢高校をいろいろ存続できる方法を。そういう知恵が私には必要であるうと思っております。

一般質問

問 能勢町の小中学校それから高校も入れて教科の連続性を一貫してとらえる(シラバス)を教科ごとに取り組んでいる。子どもを育ちを中学校と高校も含めてわかるようになっており、長いスパンで子どもの育ちを能勢では見ることが出来る(ロングレンジ)。学校の定員割れは、能勢町の生徒の数が大幅に減少してきていること、大阪府の私立高校の助成も府内で公

問 町長にお聞きします。平成16年「中高一貫教育」を実施するために、総合学科に改編した能勢高校を、新しく再編する「小中一貫教育」と、どのようにリンクさせたビジョンをお持ちなのか、町長の所見をお聞きします。
答 学校の存続には、公立であれ私学であれ特色ある魅力的な学校でなければだめだと思つている。能勢でしか取り組めない特色ある高校としての存在価値を発信し大阪府と協議しながら新たな方向性を模索したいと考えている。例えばバイオとか農業化学みたいなものに特化するか、それから大阪北部の公立高校の中で定員割れしそうな学校と提携しながら分校とい

問 教育現場に近い市町村に権限を移すべきだと思われるが認識を伺う。
答 教職員が地域に根ざす意識が重要であり、能

問 今後の進捗状況の報告を伺う。
答 方向性が確定次第、適時報告いたします。

